



デジタル化・DX事例報告会

町工場から始まるDX

RPAとAIで現場と経営をつなぐ安信工業の挑戦

デジタル化・DX事例報告会(岡山市産業振興課 主催)

事例4: 安信工業株式会社

テーマ 町工場から始まるDX

発表者

代表取締役 安信 政裕

会社概要と課題



創業

1968年 (56期目)

従業員13名

主要取引先

- ・ オージー技研(株)
- ・ みのる産業(株)
- ・ 山陽ロード工業(株)

主な製品

- ・ 健康器具
- ・ 農機具
- ・ 公共部品
- ・ 獣害対策機器

□ 課題: 紙伝票・手入力・属人的運用により、事務処理が煩雑化

DX導入の目的

「職人の時間を 取り戻す」

01

目的

現場作業と経営情報を自動でつなぐ

02

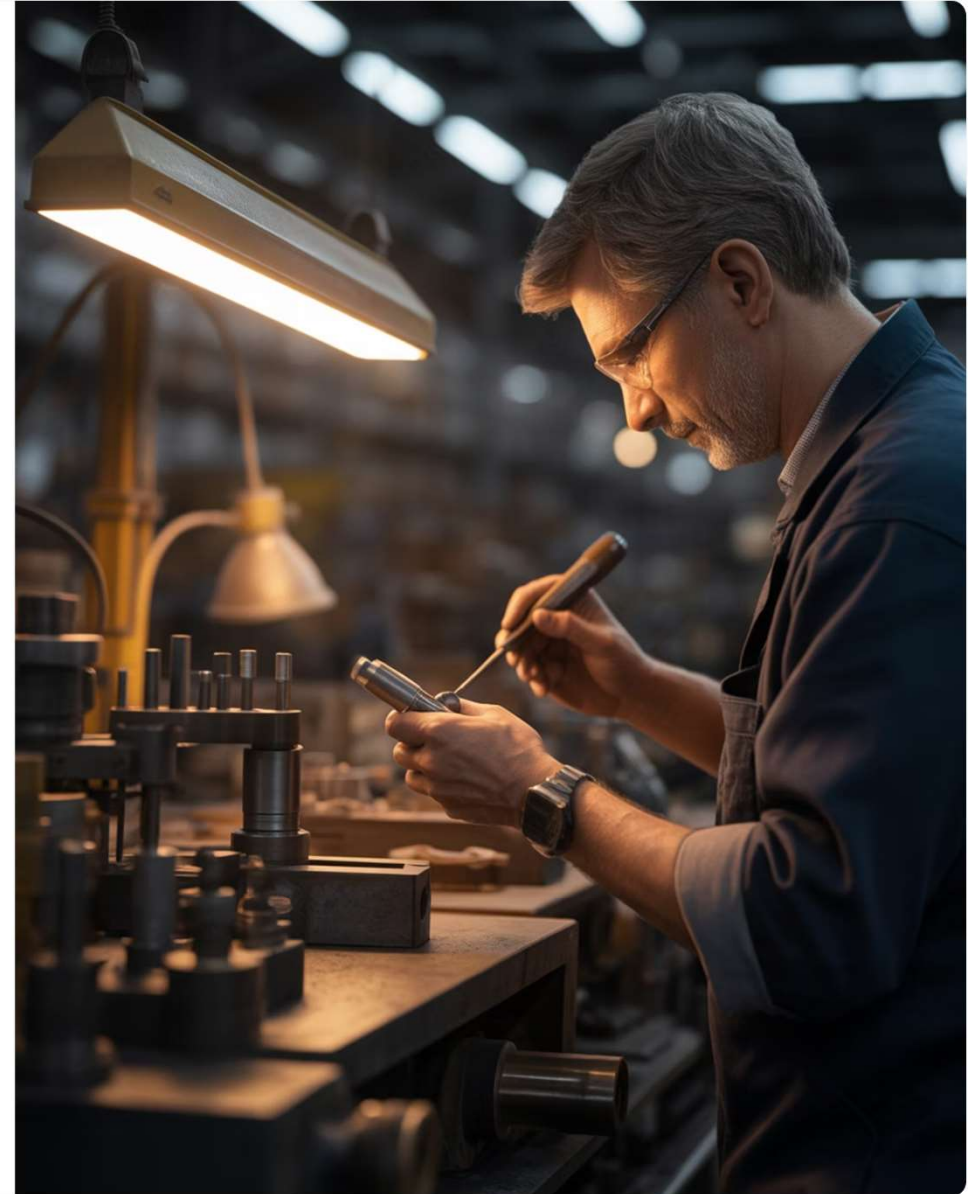
ゴール

属人化から脱却し、リアルタイム経営へ

03

スローガン

「人の感性 × デジタルで再構築」



製造DX — RPAで現場を自動化

 yasunobu-co-ltd.com



生産指示書・材料発注を自動生成



検査成績書・納品書・請求書をタブレットで作成



RPAが受注データを読み取り→生産計画を自動反映

★岡山市IoT・AI等先端技術導入支援補助金★

【前期】RPAの検証と構築、【後期】社屋内デジタル通信網の構築(100M)

経理・財務の自動化(RPA導入)

50%

経理業務削減

自動化された業務

- ・ 給与計算
- ・ 支払業務
- ・ 請求書処理を自動化

導入システム

- ・ クラウド会計(TKC)+RPAで連携
- ・ OCRで請求書読取→自動仕訳
- ・ Zoomで税理士とリアルタイム連携



AI×ものづくりの新展開

ファイバーレーザー溶接
×3D-CAD×AI設計

多材質対応

鉄・アルミ・ステンレス・銅に対応

AI最適化

AIが強度・精度を計算し最適条件を提示

ノウハウ継承

職人のノウハウをデータ化→若手教育にも応用

AI×ものづくりインキュベーターへ

1

AIで構造設計

- ①商品の着想
- ②AIによる壁打ち
- ③熟練工知識の代替え

2

AIマニュアル作成

- ①製造工程の動画撮影
- ②AIによりマニュアル化
- ③熟練ポイントの保管

3

AIマーケティング

- ①市場調査
- ②効率的マーケティング戦略
- ③AIによるCVR検証

成果と効果



経理業務時間

70%以上削減



リードタイム

30%短縮

見積～出荷



新規受注社数

年5社増

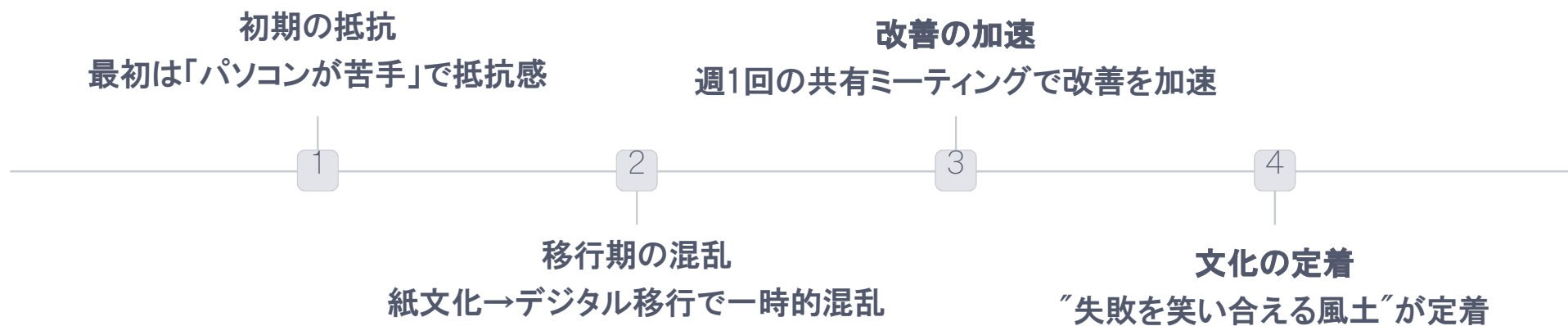
既存顧客売上+20%



人材育成

若手社員がRPA開発・運用を担当し定着

DXの裏側(失敗と学び)



今後の展望

「パフォーマックス事業部」 を立ち上げ



DX支援展開

岡山市内中小製造業へのDX支援を展開



地域DX拠点

製造×観光×教育を融合した地域DX拠点を構築
予定



まとめ

DXとは「IT導入」ではなく「働き方の再設計」

小さな町工場でも未来を変えられる

岡山から全国へ——ものづくりDXの灯を広げる



ありがとうございました

(※本スライドは岡山市産業振興課主催「デジタル化・DX事例報告会」公式フォーマット対応版)